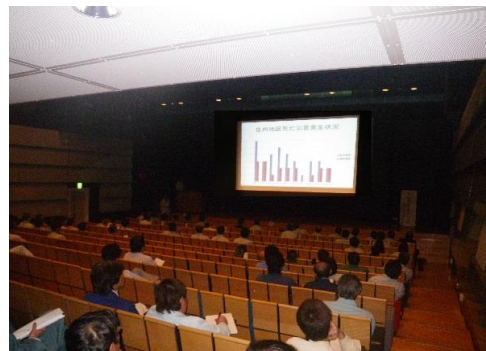


事故ゼロを目指して！

平成29年度 第2回 安全パトロール実施

請負工事等の事故発生を未然に防止し、工事の円滑な進捗を図ることを目的に、平成28年度第2回目となる安全点検（パトロール）を10月5日（木）午前に7箇所の現場で実施しました。また、午後からは事故防止対策安全点検講習会を開催し、庄内労働基準監督署の梅木安全衛生課長より『リスクアセスメントについて』と題して講話をいただくとともに、点検結果を参加者全員で確認し、認識を共有しました。講話の概要と主な点検結果について、以下のとおりお知らせします。

事故防止対策安全点検講習会



○講話の概要

- ・山形県及び庄内地区の今年度の労働災害の発生状況について、説明があったほか、酒田地区において発生した過去の死亡事故と物損事故について、発生状況と原因の説明があった。
- ・労働安全衛生法が改正され、一定の危険有害性のある化学物質について、事業場におけるリスクアセスメントが義務付けられた。
- ・リスクアセスメントの最大のポイントは、危険性又は有害性の特定であり、多数の参加により見逃しを防ぐことが必要である。
- ・また、リスクの見積もりのため、重篤度や可能性の度合いを考慮し数値化等により正確に見積もる

安全パトロールの主な点検結果

- 模範となる事項
- × 改善すべき事項



× 道路の汚れ

現場事務所への車等の出入りに伴い道路が汚れている。また、他の交通により汚れが拡散する。



○ 服装点検用の鏡が設置

自身の服装を自ら確認できるように、鏡を設置することにより服装チェック徹底が図られている。



○子供へ配慮したガードパイプの設置
小学校の現場であることに配慮した、親しみあるガードパイプを設置している。



×鉄筋が地面に直置き
鉄筋が頭部が地面に直置きされており、台等に載せておくべきである。



×歩行者用通路の安全確保が不十分
セーフティコーンで確保された通路が狭く、片側が蓋のない水路になっているため、歩行者の安全確保ができていない。



×撤去後に釘が残されている
間仕切撤去後、釘が残されていて危険である。



×土砂が建物に近く、未整形
現場内に積み上げられた土砂が、建物に近く、整形されていないために危険である。



×危険防止のバリケード未設置
工事現場に注意テープは張ってあるものの、危険防止のバリケードを設置すべきである。

次回は、寒冷期の安全対策を主眼として、点検を実施する予定です。